

## 焼却灰等の放射能濃度及び空間放射線量の測定結果

小平・村山・大和衛生組合では、環境省「一般廃棄物焼却施設における焼却灰の測定及び当面の取り扱いについて」(平成23年6月28日付け事務連絡)及び東京都「焼却に伴って発生する焼却灰等の放射能濃度の測定について」(平成23年6月27日付け23環廃一第235号)の通知により焼却施設から発生する焼却灰(主灰・飛灰)の放射性物質と施設の敷地境界の空間放射線量の測定を実施いたしました。測定結果は下表のとおりです。

主灰・飛灰の放射性物質すべての測定値で、国が示す埋立処分を可能とする暫定基準値8,000 Bq / Kg以下の値でした。

### 1 測定方法

#### (1) 主灰、飛灰、排ガスの放射能濃度

ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線測定

#### (2) 空間放射線量

シンチレーション式サーベイメータ

### 2 測定結果

測定箇所		試料採取日	測定項目		測定結果	
主灰 1	焼却施設 灰押出機出口	7月9日	放射性ヨウ素	I-131	不検出	
			放射性セシウム	Cs-134	194	
				Cs-137	254	
				計	448	
飛灰 2	焼却施設 加湿混練機出口	7月9日	放射性ヨウ素	I-131	不検出	
			放射性セシウム	Cs-134	1,005	
				Cs-137	1,246	
				計	2,251	
排ガス	4号ごみ焼却施設	7月9日	放射性ヨウ素	I-131	不検出	
			放射性セシウム	Cs-134	不検出	
				Cs-137	不検出	
敷地境界	境界の地上1m	7月9日	空間放射線量 (3回測定の平均値)		東	0.08
					西	0.09
					南	0.07
					北	0.08

1 主灰は、焼却炉の灰出設備から排出される灰

2 飛灰は、焼却炉の集じん器(バグフィルタ)で捕集された灰